

「本物」との出会いが拓く未来：地域インタビューで見た児童の成長と共鳴

児童の変容：受け身の学習から「主体的な探究」へ

地域の共鳴：子どもと大人が「共に創る」パートナーシップ

**「本物の知識」への興奮が
主体性を引き出す**

教科書やネットにはない専門家の「生きた言葉」に触れ、学びを「楽しい」と感じる姿勢へ変化。

**緊張を乗り越えた
「自信」と「対応力」の獲得**

5年時の「友達任せ」を脱却し、アドリブでの質問や礼儀正しい応対ができる自分へ成長。

**「地域に貢献したい」
という
社会参画意識の芽生え**

学んだことを家族や地域に伝えたい、那須町のために役立ちたいという高い意欲が定着。

那須町の児童による地域インタビュー活動は、児童の「主体性の向上」「社会参画への意欲」という内的成長と、協力者側の100%の肯定という双方向のポジティブな影響を生み出し、地域の未来に不可欠な教育として評価されています。

**協力者の100%が
活動の価値を肯定**

単なる学校行事ではなく、地域の持続可能性に直結する重要な教育活動であると高く評価。

**大人側にもたらされる
「新たな気づき」と刺激**

児童の純粋な問いや熱量に触れることで、地域の大人自身も初心に帰り、活力向上に繋がっている。

**「調べる」から
「社会実践」への
ステップアップ**

今後は児童のアイデアを実際の旅プランやイベントとして具体化する、協働フェーズを期待。